

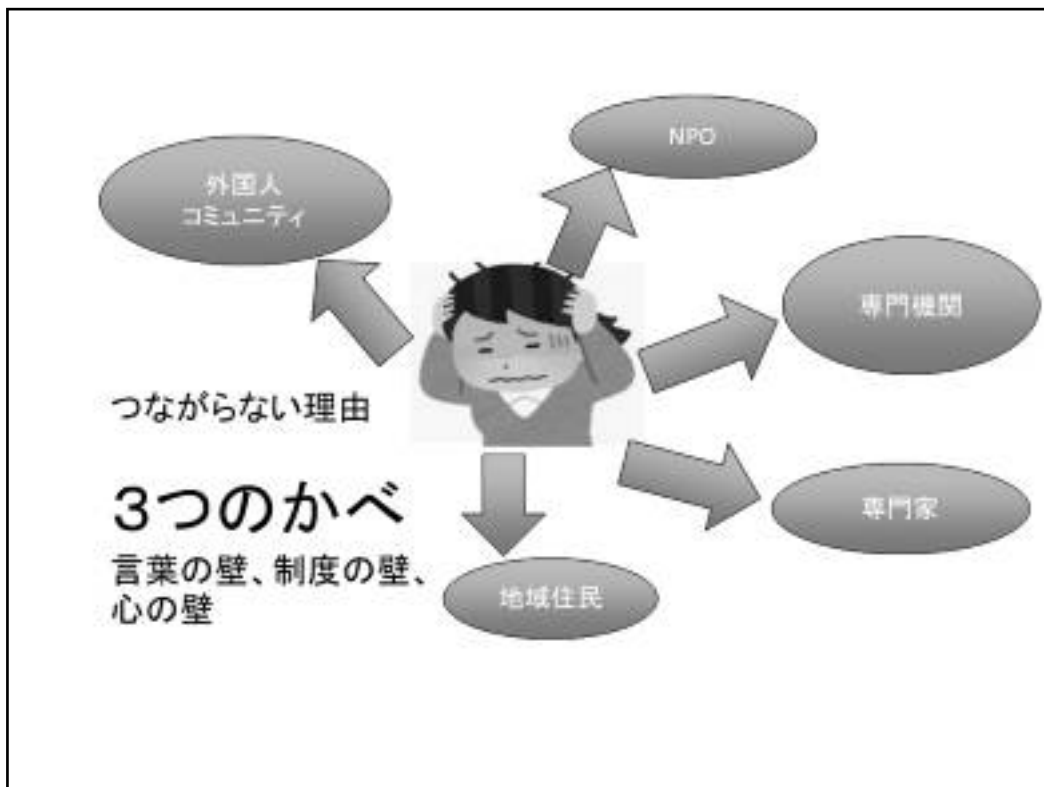
資料5-2

2019年 第14回中部NGO-JICA
中部地域協議会

SDGsを意識した、海外と国内を
結ぶ事業例

外国人ヘルプライン東海
Gaikokujin Helpline Tokai
後藤 美樹





1 貧困を
なくそう



3 すべての人に
健康と福祉を



10 人や国の不平等
をなくそう



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



ヘルプラインの事業

- 外国人何でも相談会
- 個別相談、出張相談
- 通訳派遣、翻訳
- コミュニティ通訳講座
- 講師派遣
- その他



相談事業について

<なんでも相談会>

1) 多言語対応

ポルトガル語、スペイン語、
英語、ネパール語、ベトナム語、
フィリピン語、中国語など

2) 専門の対応

(多文化ソーシャルーカー、
弁護士、行政書士)



相談事業について

- 外国人なんでも相談会
毎月第3土曜日 14:00-17:00
コープあいち
- 個別相談、電話相談
出張相談も可能
- 通訳派遣は1回6000円～、翻訳証明書1枚
2000円～、400時4000円～

相談事業について

- ◆相談会実績
のべ36件
(うち来所相談 15件)

- ◆ケース会議
待ち時間を利用して
進捗の報告、対応の相談



*今年度はコープあいち
福祉基金の助成



相談事業について

- 2018年度のケース数:62件
- フィリピンが最多、ペルー、ブラジルとつづく
- 居住地は名古屋市が最多

通訳派遣・翻訳 実績

- 2018年度 通訳派遣 76件
(委託26件、個人依頼は50件)
- フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語と続く
- 派遣先は当団体事務所、自宅、法律事務所
- 2018年度 翻訳件数 30件
(テキスト、イベントチラシ、パンフレット、証明書、ホームページなど)

成果

「穴に落ちる」外国人住民を社会資源につな
げる

言葉の壁(情報の不足)

多問題(「縦割り行政」)

オーバーステイ

特定の相談機関では対応できない新しい問
題分野

成果

- 通訳者の派遣
「言葉」で社会資源につなぐ
- コーディネート機能
課題の整理、複数の社会資源につなぐ
- 行政以外（NPO、ボランティアなど）の社会資源につなぐ、新しく創り出す、提案することも

課題

1)活動・事業における課題

オンデマンドの相談対応ができない
通訳派遣(とくに平日)の派遣が難しい
市民団体としての機能
政策提言などの仕組みづくりに関わる時
間があまり取れない

課題

2) 組織運営における課題

有給スタッフの必要性→資金の不足

人材の不足

事務局を担う人材

コーディネーター

相談対応(多文化ソーシャルワーカー)

通訳者

今後の展開

1) ケース会議の強化

連携機関と「顔のみえる」関係づくり
事例を通じて問題を共有

地域全体で相談機能を強化する
「課題」を地域全体で共有し、社会を変える
ための取り組みにつなげる

今後の提案

2) 成果指標の設定

相談の傾向、支援内容について分析
通訳派遣にかかるコストとその成果
→委託につなげる

今後の展開

3)「多文化共生総合相談ワンストップセンター」 との関わり

「外国人材の受入れ・共生のための総合的対
応策」

実施主体(自治体国際化協会)と具体的な提
案

委託事業、相談事例の共有など